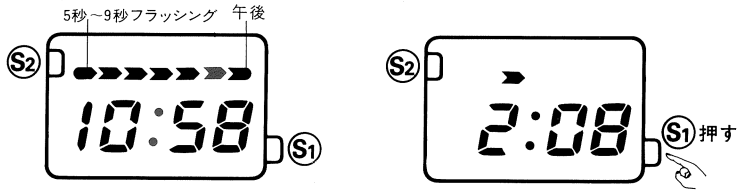
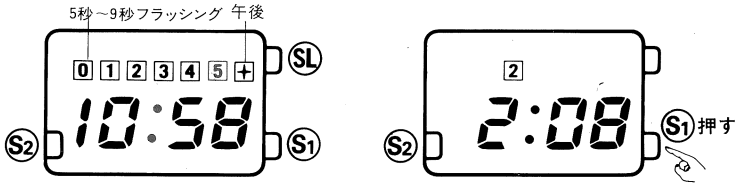
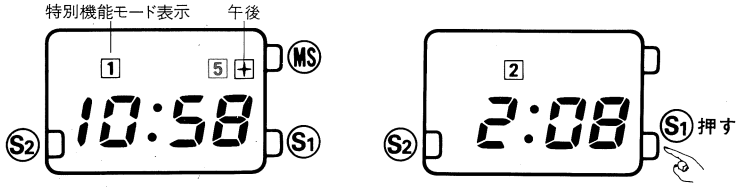
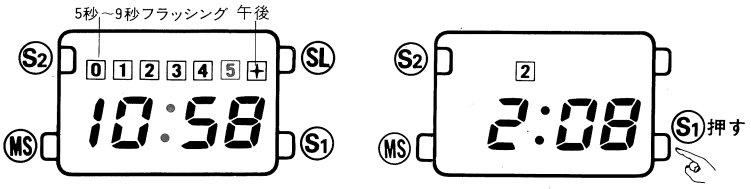
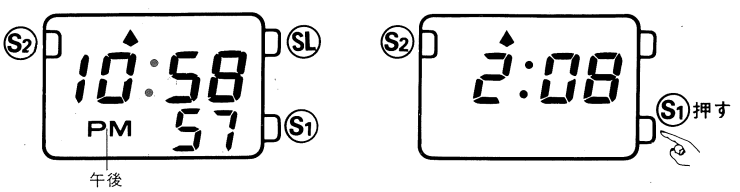
本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

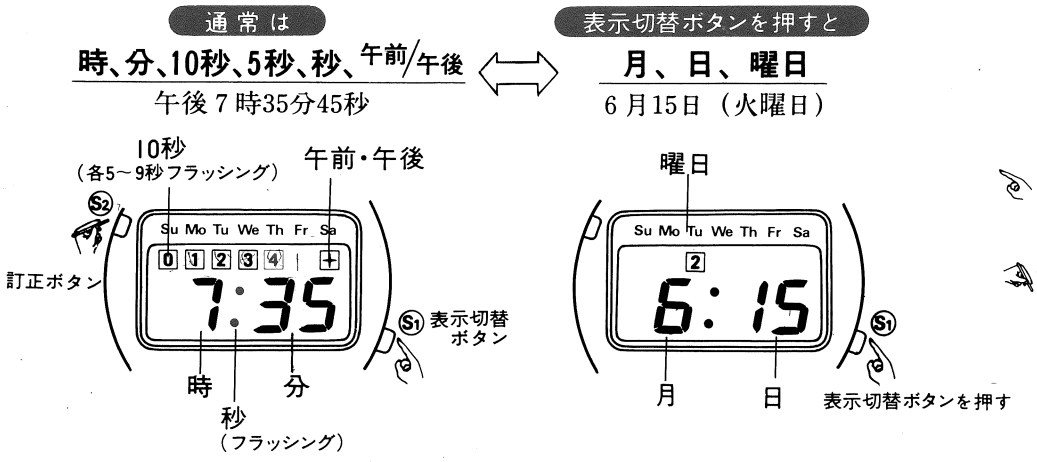
# 表示のシステムと操作タイプ

Ⓢ1時刻表示のとき押すとカレンダー表示になります。
Ⓢ2時刻・カレンダーの訂正のとき押します。
Ⓢ3±30秒クリアの0秒修正のとき押します。
ⓈⓁライトボタン。
ⓂⓈ表示を特別モード機能に切替えるとき押します。

## Bタイプ操作

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | R-11Mシリーズ<br>R-11B 〃<br>R-11B1 〃<br>R-12L 〃<br>R-15B 〃<br>R-15B1 〃<br>R-19B 〃<br>O-11B 〃 |  | 0秒修正 |
| 2 | S-12Bシリーズ<br>R-16B 〃<br>R-14B 〃<br>GR-14B 〃 |  | 0秒修正<br>ⓈⓁライト付 |
| 3 | **カシオトロンX-1**<br>S-14Bシリーズ<br>R-17B 〃<br>GS-14B 〃 |  | 0秒修正<br>ⓂⓈ特別機能<br>ストップウオッチ<br>カウンター<br>世界時計<br>デュアルタイム(別時計) |
| 4 | **カシオトロンSTシリーズ**<br>S-15Bシリーズ<br>S-16B 〃<br>S-16B1 〃<br>R-18B 〃<br>GS-15B 〃<br>GS-15L 〃<br>GS-15L1 〃<br>S-17B(表示はB2)<br>S-18B(ⓈⓁボタン無)<br>S-18B1( 〃 )<br>GS-18L ( 〃 ) |  | 0秒修正<br>ⓂⓈ特別機能<br>ストップウオッチ<br>デュアルタイム(別時計) |
| 5 | **6桁カシオトロン**<br>37CR-10Bシリーズ |  | 0秒修正<br>ⓈⓁライト付 |

# Bタイプ操作方法 （例 R-15Bシリーズ）




S1通常は表示切替ボタンですが、時間・カレンダーの修正・0秒修正のときも操作します。

S2時間・カレンダーの修正・0秒修正・時差修正のとき操作します。

## ■基本時計の合わせ方

### ●時刻合わせ　例：午後7時35分

| | 操作手順 | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | セット条件　秒表示が50秒～59秒（5まで点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンS2を押す | ・「時」表示が1時間ずつすすみます（午後表示⊕は12時を過ぎるごとについたり＝PM（午後）消えたり＝AM（午前）します） |
| 2 | 「午後表示」⊕がつき「7時」のときボタンS1を押す | ・「10分台」表示があらわれ10分ずつ進みます |
| 3 | 「10分台」表示が「30分」のときボタンS1を押す | ・「1分台」表示があらわれ1分ずつ進みます |
| 4 | 「1分台」表示が「5分」のときボタンS1を押す | ・「午後7時35分」がセットされ時計が停止状態になります |
| 5 | もう一度S1を押す | ・「秒」表示がフラッシングして午後7時35分ジャストより時を刻みはじめます |

●時報にあわせるには現在時刻より1分ぐらいすすませたところでセットしておき時刻が時報にあったとき操作5でスタートさせます。

### ●カレンダー合わせ　例：6月15日We（水）

カレンダー合わせ中も時刻は正確にカウントされています。

| | 操作手順 | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | セット条件　表示切替ボタンS1を押し「カレンダー表示にしたまま」で訂正ボタンS2を押す | ・「月」表示を残して他は消え「月」表示がひと月ずつ進みます |
| 2 | 「月」表示が「6月」になったときボタンS1を押す | ・「10日台」表示があらわれ「10日」ずつ進みます |
| 3 | 「10日台」表示が「10日」になったときボタンS1を押す | ・「1日台」表示があらわれ「1日」ずつ進みます |
| 4 | 「1日台」表示が「5日」になったときボタンS1を押す | ・「曜日」表示があらわれ0 1 2…5 ⊕ 0…とひとつずつ移動していきます |
| 5 | 「曜日」表示が「3 We（水曜日）」にきたときボタンS1を押す | ・「6月15日We（水曜日）」がセットされボタンS1をはなすと同時に時刻表示にもどります |

## ●0秒修正のしかた（±30秒クリア）

このカシオトロンは、高精度です。したがって、月に一度、この「0秒修正」を行っていただけますと、時計はいつも正確です。29秒以内の「進み」、30秒以内の「遅れ」は、次の方法で簡単に行えます。

### 〈29秒以内の「進み」の場合〉 例：7時0分1秒～29秒の進みを7時ピタリに合わせる

| | 操作手順 | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | セット条件　秒表示が0秒～49秒（0 1 2 3 4 の間で点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンS2を押す | ・すべての表示がフラッシングを始めますがこの間も時刻はカウントされながら進んでいきます |
| 2 | 0秒修正は分単位でおこなえます。時報にあわせて表示切替ボタンS1を押しゆっくり離してください。 | ・この瞬間より29秒以内の「進み」が0秒にもどりジャストタイムよりカウントを開始します |

### 〈30秒以内の「遅れ」の場合〉 例：6時59分30秒～59秒の遅れを7時ピタリに合わせる

| | 操作手順 | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | セット条件　秒表示が0秒～49秒（0 1 2 3 4 の間で点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンS2を押す | ・すべての表示がフラッシングを始めますがこの間も時刻はカウントされながら進んでいきます |
| 2 | 0秒修正は分単位でおこなえます。時報にあわせて表示切替ボタンS1を押しゆっくり離してください。 | ・この瞬間より30秒以内の「遅れ」を0秒に規正しジャストタイムよりカウントを開始します（時、分は同時にくりあがります） |

●修正後各ボタン機能が作動しない場合はボタンS2を押して訂正操作をおこなってください。

## ●時差修正のしかた

（例）現在の表示　午前11時30分50秒（日本標準時間）
ハワイ標準時間　午後4時30分50秒（時差＋5時間）
時差5時間であるので午後4時だけの修正を行えばハワイ時間のセットがおこなえます。

| | 操作手順 | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | セット条件　秒表示が50秒～59秒（5まで点灯・フラッシング）のとき訂正ボタンS2を押す | ・「時」表示を残して他は消え1時間ずつ進み12時をすぎると午後表示⊕がつきます<br>・セットした「午後4時」とカウントをつづけている「分」「秒」が同時に表示され「午後4時30分50秒」のハワイ時間に修正されます（実際には操作時の経過時間もカウントされていますので正しい時刻にあっています） |
| 2 | 「午後4時」のとき訂正ボタンS2を押す | |

●日付変更はカレンダー合わせの要領で合わせてください。

注：10秒、曜日表示には1. 0 1 2 3　2. 3　3. ➡➡➡➡の表示方法がありますが操作は10秒、曜日表示が➡➡➡の場合、午後表示は➡，1 2 3の場合は⊕マークになります。

大、小の月を自動判別する電子頭脳が内臓されていますが、2月末日のみ28日制オートカレンダーになっております。ごめんどうでも4年に1度うるう年のみ2月29日にカレンダー合わせをおこなってください。